表彰等候補者調書の記入・提出①

＜個人・団体・グループ共通＞

- 推薦件数は6件以内です。（推薦要領3（1））
- 本年10月1日現在で御記入ください。
- 候補者の「顔写真」についても、可能な限り御提出ください。その際、画像データはWord等に貼付の上、御提出ください。
- 主な**審査対象は「活動の内容及び成果」欄に記載の内容**です。そのため、同欄には、候補者の活動・成果について具体的かつ分かりやすく（**500字程度**）で御記入ください。
- 「活動の内容及び成果」欄に記載の内容の参考資料として、
  ①候補者に対する評価や地域への貢献が分かる関係資料
  （例：新聞、雑誌記事などの切り抜き）
  ②候補者の活動の様子が分かる画像
  についても、可能な限り御提出ください。

  上記①及び②以外の資料についても、必要に応じて資料を添付いただくことは差し支えございませんが、同欄に記載のない事項を別紙として作成・提出することはお控えください。なお、論文や雑誌等への寄稿文を添付する場合には、必ず200字程度に要約した概要を添付してください。
- 調書の記載内容は、そのまま全てが公表されることはありませんが、書面審査書類となりますので、正確に御記載ください。（選考や候補者の活動概要作成等に使用し、受賞者の公表資料の基になります。）
- 過去5年間に、ベスト消費者サポーター章を受章した者を推薦する場合には、過去の受章対象となった活動に加えて、新たな活動や成果が明確に分かるように御記入ください（推薦要領3（2）エ）。記載方法の詳細は、記載例を参照してください。
- 他の推薦者の調書を複製し、名前だけを変更して調書を複数名分提出するようなことは厳に避けてください。

【都道府県及び政令市の推薦について】
都道府県及び政令指定都市が推薦する場合においては、当該地域での活動を中心とした功績を調書へ記載いただくとともに、広域的な活動についても功績がある場合は、その貢献内容を調書へ記載いただくことも可能です。

表彰等候補者調書の記入・提出②

＜様式1-個人＞

- 生年月日、職歴等の年表示は西暦で御記入ください。
- 「職業」欄は、報酬の有無にかかわらず、審議会委員、消費者団体の役職等現在の活動状況が分かるものを御記入ください。もし現在の所属先等がない場合は「元〇〇団体職員」など評価対象となる職業を御記入ください。

＜様式2-団体・グループ＞

- 対象は、活動の実績が5年以上あり、かつ、当該活動が将来にわたり継続されることが見込まれる者です。（推薦要領3（2）オ）
- 「団体の活動範囲」欄は、候補団体の活動する地域を御記入ください。
- 「設立年月日」欄は、日が分からなければ月（月も分からなければ年）までを西暦で御記入ください。
- 「団体補助金」欄は、該当ある場合は、分かる範囲で金額を御記入ください。
- 構成員の年齢が分かる資料等を御提出ください。
- 団体の構成員としての活動が他の模範となる個人については、当該個人が属する団体・グループを推薦してください。ただし、団体の構成員としてではない個人の活動が他の模範となる場合は当該個人を推薦してください。（推薦要領3（2）カ）

選考基準とその例示

選考基準		例示
項目	概要	
波及・将来性	活動が他の地域や個人、団体・グループに広く普及しているか、あるいは将来普及することが期待できるか。	若者向け教材を地元短期大学生と開発 発達段階に応じた体験・参加型教育プログラムの作成 消費者問題をテーマとした記事を情報誌に掲載　等
貢献・成果	消費者支援活動としての貢献、成果が顕著であるか。	○○市消費生活審議会委員 ○○県消費者安全確保地域協議会設置に尽力 民生委員の活動においても地域住民の消費者被害防止に資する取組を実施　等
積極性	高度又は難しい分野において積極的な活動を行っているか。	近隣地域との相談・教育・啓発の連携 大学院における研究　等
独自性・新規性	活動が他に先んじて実施されたものか。他の個人、団体・グループのモデルとなるような内容であるか。	持続可能な社会の実現に向けた普及・研究活動の実施 デジタル社会に対応する新たな情報発信の方策を提案 等
継続性	今後、活動を永続させるための工夫をしているか。	消費生活相談員・教員の育成・指導 国民生活センター主催研修等講師 消費者団体の育成　等

参考2「消費者支援功労者表彰等実施要領　別紙」に加筆

記載例①

表彰等候補者調書【様式1ー個人（消費生活相談員）】

消費者支援功労者表彰等推薦要領別紙2-1

ふりがな 氏　名 生年月日	しょうひ　はなこ 消　費　花　子 1965年8月1日生まれ　年齢61歳　男・(女)
住　所	〒〇〇〇-〇〇〇〇　〇〇県〇〇市〇〇　〇-〇-〇
職　業	〇〇県消費生活相談員
表彰の対象	消費者支援功労者表彰等推薦要領2の（1）（2）（3）（4）（5）
活動の内容及び成果 ※500字程度	**≪記載例①≫** ・〇〇県消費生活センターにて20年もの長きにわたり、消費生活相談員を務め、複雑・巧妙化する契約トラブルに対し、きめ細かな相談対応等を通じて〇〇県の消費者被害の防止と救済に貢献した。特に、様々な事情や背景を持つ相談者からの多種多様な相談に対し、臨機応変に対応する丁寧な姿勢と、あっせん先事業者と粘り強く対応していく姿勢は、他の相談員の模範であり、職種を超えた多くの職員から厚い信頼を得ている。 ・現場では、各相談員のまとめ役となり、相談に必要な知識や情報、実務ノウハウ等を伝えるなど、長年の業務経験を活かしながら相談員の養成・育成にも尽力している。また、情報化の進展、消費生活のグローバル化に伴い、消費生活相談は多様化・複雑化、悪質商法の手口は巧妙化する中、常にアンテナを高く張り、国や他の自治体の施策の動向、最新の消費生活相談の状況等について広く情報収集を行い、相談対応マニュアルを作成するなど当センター相談員の知識向上に貢献した。 **≪記載例②≫** ・20●年から県の指定相談員として、県内全域（各市区町村）の相談員からの相談に対して助言・指導を実施。定期的に県内の消費生活相談窓口を巡回して相談状況を確認し、市区町村で受けた困難事例についてはあっせんに立ち合うなど、相談現場のサポートや底上げに貢献している。 ・当センターで相談業務に貢献する傍ら、大学院で研究に従事し、デジタル取引、主にキャッシュレス決済に関する消費者トラブルに精通。その研究成果について論文を執筆するほか、キャッシュレス決済の仕組みやリスクについて分かりやすく解説した書籍を出版し、消費者の理解促進に寄与するなど、キャッシュレス決済が関係する消費者トラブルの未然防止・解決支援に関する活動に尽力している。 ・裁判所の調停委員として、20●年から20●年までの5年間、簡易裁判所の民事調停委員を務め、多岐にわたる事件を担当。20●年以降は国民生活センター紛争解決委員会特別委員としても活動し、消費者被害救済に貢献している。

	≪記載例③≫ ・（公社）全国〇〇協会〇〇支部支部長として協会活動を牽引。相談員向け各種研修の企画・運営や、協会受託の講座において講師を務めるなど、消費者教育活動にも積極的に取り組んでいる。また、国の消費者関連法の制定・改正に関する検討会に委員として議論に参画。消費生活相談員として相談現場の現状や消費者の特性等について積極的に意見を述べ、議論の充実、ひいては制度整備等に大きく貢献した。 ・〇〇県独自の学校授業用副教材の作成や、教員と協力して県内の学校で授業を行うなど、県内の消費者教育・啓発事業に対して積極的かつ献身的に取り組んだ。 ・県内の消費者被害の未然防止・拡大防止に向けた出張講座において講師として多数登壇し、若者から高齢者まで世代に応じた講座を実施。内容の分かりやすさに定評があり、受講者の満足度も高い。このほか地元紙への寄稿、地元ラジオ番組への出演も積極的に実施するなど、幅広い啓発活動を通じて県内の消費者教育、ひいては地域の安心・安全な消費生活の確立に大きく貢献している。
職　歴	・20●年4月～現在　〇〇県消費生活相談員 ・20●年4月～20●年3月　〇〇簡易裁判所民事調停委員 ・20●年4月～現在　国民生活センター紛争解決委員会特別委員 ・20●年7月～現在　（公社）全国〇〇協会〇〇支部支部長
主な表彰歴	特になし
ベスト消費者サポーター章受章歴の有無	(有)（2019年5月受章）・無
備　考	（ベスト消費者サポーター章青年部門に該当する場合はその旨記載）

担当者	所　属	〇〇県〇〇部〇〇課	氏　名	〇〇〇〇	電　話 FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

※「表彰等候補者調書」の他に可能な範囲で活動の様子が分かる資料、候補者に対する評価や地域への貢献が分かる資料（広報、新聞、雑誌記事など）及び顔写真（サイズ・様式自由）を添付してください。

※過去にベスト消費者サポーター章を受賞済の場合には、「活動内容及び成果」の欄において、**ベスト消費者サポーター章受章以降の取組に下線**を引いてください。

記載例②

表彰等候補者調書【様式1ー個人（学識経験者）】

消費者支援功労者表彰等推薦要領別紙2-1

ふりがな 氏　名 生年月日	しょうひ　たろう 消　費　太　郎 1965年8月1日生まれ　年齢61歳（男・女）
住　所	〒〇〇〇-〇〇〇〇　〇〇県〇〇市〇〇　〇-〇-〇
職　業	〇〇大学〇〇学部教授、〇〇大学院〇〇研究科教授
表彰の対象	消費者支援功労者表彰等推薦要領2の（2）（3）（4）（5）
活動の内容及び成果 ※500字程度	≪記載例①≫ ・消費者法制に関する深い知見を踏まえ、国の審議会等の委員を多数歴任。学識経験者の立場から〇〇等について積極的に意見を述べ、議論の充実、ひいては制度整備等に大きく貢献した。中でも〇〇省の「〇〇検討会」では座長を務め、〇〇法の見直しに向けた議論の取りまとめに尽力したことにより、法改正へと繋がっている。 ・公共政策論、消費法学論等を通じ、日本の消費生活や消費者政策の研究に従事する中、20●年には〇〇学会の理事に就任し、学問と実務の連携強化を進め、研究発表や情報交換の場を提供することで、学会活動の活性化に寄与。また、消費者法制度に関する研究を継続し、その成果として著書「〇〇」、「〇〇」などを執筆。消費者関連団体での講演、広報誌への寄稿活動、消費者啓発講座の講師として全国的に活動するなど、消費者の安全・安心の確保に大きく貢献している。 ・20●年には、消費者団体「〇〇ネットワーク」の立ち上げに際して中核的役割を担いながら設立に尽力。現在まで、同団体の理事として、学習交流会の開催や講師派遣、県内消費者団体のネットワーク化を主導し、適格消費者団体の認定にも貢献した。 ≪記載例②≫ ・学部入学者全員が受講する初年次授業として消費者法制に関するセミナーを開講するなど、長年にわたって学生への教育活動を積極的に実施。また、大学で法教育を担当する中、ゼミ生と共に中学生向けの消費者法の教育教材を企画・作成し、地元の中学校に出向いて授業を行う取組を毎年継続して実施するなど、同大学における消費者法教育の基礎を築いている。 ・若年者の消費者問題の未然防止に関する研究・教育活動を熱心に進め、卒業生を自治体の消費生活センター職員として輩出するなど、消費者政策の担い手育成にも尽力。また、大学院〇〇コースのカリキュラム作成や院生の論文指導等において中心的役割を果たしており、消費者問題の専門家を数多く輩出するなど、消費者政策推進のための人材育成に大きく貢献している。 ・県内において20●年度から3年間実施された「小中高生向け消費者教育教材開発事業」に研究会委員として参画し、県内小中高生向け教材の監修に貢献。加えて、教員と協力して県内の学校で授業を行うなど、〇〇県の消費者教育・啓発事業に対して積極的かつ献身的に取り組んだ。
職　歴	・20●年4月～現在　〇〇大学〇〇学部教授 ・20●年4月～20●年3月　〇〇省「〇〇検討会」委員 ・20●年4月～20●年3月　〇〇省「〇〇検討会」委員 ・20●年4月～20●年3月　〇〇省「〇〇検討会」座長 ・20●年4月～現在　〇〇大学院〇〇研究科教授 ・20●年4月～現在　〇〇学会理事 ・20●年9月～現在　〇〇ネットワーク理事 ・20●年4月～20●年3月　〇〇県「小中高生向け消費者教育教材開発事業」研究会委員
主な表彰歴	特になし
ベスト消費者サポーター章受章歴の有無	有（　　）・無
備　考	（ベスト消費者サポーター章青年部門に該当する場合はその旨記載）

担当者						
	所　属	〇〇県〇〇部〇〇課	氏　名	〇〇〇〇	電　話 FAX	○○○-○○○-○○○○ ○○○-○○○-○○○○

※「表彰等候補者調書」の他に可能な範囲で活動の様子が分かる資料、候補者に対する評価や地域への貢献が分かる資料（広報、新聞、雑誌記事など）及び顔写真（サイズ・様式自由）を添付してください。

※過去にベスト消費者サポーター章を受賞済の場合には、「活動内容及び成果」の欄において、**ベスト消費者サポーター章受章以降の取組に下線**を引いてください。

記載例③

表彰等候補者調書【様式1ー個人（弁護士）】

消費者支援功労者表彰等推薦要領別紙2-1

ふりがな 氏　名 生年月日	しょうひ　はなよ 消　費　花　代 1965年8月1日生まれ　年齢61歳　男・(女)
住　所	〒〇〇〇-〇〇〇〇　〇〇県〇〇市〇〇　〇-〇-〇
職　業	〇〇総合法律事務所　弁護士
表彰の対象	消費者支援功労者表彰等推薦要領2の（1）（2）（3）（4）（5）
活動の内容及び成果 ※500字程度	≪記載例①≫ ・20●年の弁護士登録以来、消費者問題に熱心に取り組んでおり、〇〇事件の被害者救済を目的とした弁護団を始め、各種消費者被害の救済弁護団の主要メンバーとして被害者支援に尽力しているほか、〇〇県弁護士会消費者問題対策委員会副委員長や委員長を歴任するなど、長年にわたり県民の消費者被害救済を主導している。特に、消費者契約法・景品表示法・特定商取引法等を始めとする消費者法分野に精通しており、県内消費生活相談員向けの勉強会講師を多数務める。また、消費生活相談員の育成にも力を入れており、20●年度から現在まで〇〇県消費生活センターの法律顧問として消費生活相談業務に関する助言・指導を実施している。 ・県や市町村と連携し、若者向けに「成年年齢引下げ」に関する法律講座を数多く実施。法律専門家として消費者教育にも熱心に取り組んでいる。 ・20●年から〇〇県消費生活審議会委員として〇〇県消費生活条例の制定等に参画。20●年7月からは同会長となり、〇〇県第3期消費者基本計画の策定を主導するとともに、同計画に記載された各種施策のフォローアップ等に尽力している。 ≪記載例②≫ ・弁護士登録して以来一貫して消費者問題に高い関心を持ち、消費者団体「〇〇協会」の設立に尽力。20●年に同団体が特定非営利活動法人となった後は、理事長として長年にわたり法人運営を主導。20●年9月には同氏の尽力もあり、同法人は県内初となる適格消費者団体として認定された。同法人は不当条項の是正や差止請求訴訟等、消費者被害の拡大防止のための活動に熱心に取り組んでおり、同氏は現在もその活動を主導している。 ・消費者契約法・景品表示法・特定商取引法等を始めとする消費者法分野に精通。特に、〇〇や〇〇等の内容について、実務経験や最新の法改正の内容を踏まえながら、一般消費者向けに分かりやすく解説した書籍「〇〇」を出版するなど、消費者法制度に関する知識・知見の普及啓発に尽力している。 ・消費者法制に関する深い知見を踏まえ、国の審議会等の委員を多数歴任。実務家の立場から〇〇等について積極的に意見を述べ、議論の充実、ひいては制度整備等に大きく貢献した。中でも〇〇省の「〇〇検討会」では座長を務め、〇〇法の見直しに向けた議論の取りまとめに尽力したことにより、法改正へと繋がっている。
職　歴	・20●年4月～現在　〇〇総合法律事務所　弁護士 ・20●年4月～20●年3月　〇〇県弁護士会消費者問題対策委員会副委員長 ・20●年4月～現在　〇〇県弁護士会消費者問題対策委員会委員長 ・20●年4月～現在　〇〇県消費生活センター法律顧問 ・20●年4月～20●年6月　〇〇県消費生活審議会委員 ・20●年7月～現在　〇〇県消費生活審議会会長 ・20●年4月～現在　特定非営利活動法人〇〇協会理事長 ・20●年4月～20●年3月　〇〇省「〇〇検討会」委員 ・20●年4月～20●年3月　〇〇省「〇〇検討会」委員 ・20●年4月～20●年3月　〇〇省「〇〇検討会」座長
主な表彰歴	特になし
ベスト消費者サポーター章受章歴の有無	有（　　）・(無)
備　考	（ベスト消費者サポーター章青年部門に該当する場合はその旨記載）

担当者						
	所　属	〇〇県〇〇部〇〇課	氏　名	〇〇〇〇	電　話 FAX	○○○-○○○-○○○○ ○○○-○○○-○○○○

※「表彰等候補者調書」の他に可能な範囲で活動の様子が分かる資料、候補者に対する評価や地域への貢献が分かる資料（広報、新聞、雑誌記事など）及び顔写真（サイズ・様式自由）を添付してください。

※過去にベスト消費者サポーター章を受賞済の場合には、「活動内容及び成果」の欄において、**ベスト消費者サポーター章受章以降の取組に下線**を引いてください。

記載例④

表彰等候補者調書【様式1ー個人（地域活動）】

消費者支援功労者表彰等推薦要領別紙2-1

ふりがな 氏　名 生年月日	しょうひ　じろう 消　費　次　郎 1965年8月1日生まれ　年齢61歳　(男)・女
住　所	〒〇〇〇-〇〇〇〇　〇〇県〇〇市〇〇　〇-〇-〇
職　業	〇〇県消費者団体連絡会副会長、〇〇県消費者フォーラム事務局長
表彰の対象	消費者支援功労者表彰等推薦要領2の（2）（3）（4）
活動の内容及び成果 ※500字程度	**≪記載例①≫** ・19●年に市職員として消費者行政に初めて携わって以降、〇〇市消費生活センターの体制整備・機能強化、県内初の地域見守りネットワークの立ち上げなどに尽力。その後も同センターにて所長補佐、所長を歴任しながら、豊富な行政経験を活かした消費生活相談に当たるほか、各家庭を訪問し、消費者被害の掘り起こしをする等、地域の見守りに関して独自の取組を進めた。 ・退職後は10年以上の長きにわたり、〇〇県が実施している環境学習講座（出前講座）の事業において講師も務めており、県内の小学校や放課後児童クラブ等で、リサイクル工作や段ボールを使った生ごみコンポスト等、SDGs・エシカル消費に繋がるテーマで講義を実施している。また近年は、エシカル消費の推進にも力を入れており、食品ロス削減に関する紙芝居の実施やワークショップ等、多くの啓発イベントを実施して市民の理解醸成に貢献している。さらに、市内の多くの事業者・団体にもエシカル消費の観点を取り入れた〇〇や〇〇といった取組を実施するよう助言を行うなど、幅広い主体を巻き込みながら、地域内でのエシカル消費の推進に向けた教育・啓発活動を展開している。 **≪記載例②≫** ・20●年から県内の消費者団体である「消費者サポート〇〇」に参加し、20●年4月には会長に就任するとともに、〇〇県消費者団体連絡会の理事としても活躍。20●年からは同連絡会の副会長に就任し、県内の消費者団体を取りまとめ、行政・事業者関係団体と連携を図りながら、長年にわたり、消費者被害防止・若年者の消費者教育、環境保全活動等に積極的に取り組むとともに、県民の消費生活の安定と向上に多大な貢献を果たしている。 ・20●年からは「〇〇県地域見守り隊」としても活動し、主に高齢者に対する特殊詐欺や消費者被害の未然防止のための啓発活動を実施。〇〇県警、防犯協会やボランティア団体に加え、各地の郵便局・スーパーマーケット等の幅広い主体と連携しながら、ATMの前で特殊詐欺や消費者被害に気を付けるよう呼びかけをしたり、啓発チラシや啓発グッズを配布する活動に取り組んでいる。地域住民に対するより効果的な支援方法を常に探り、地域や県内の各団体との連携に励む姿は、他の地域住民の模範である。 **≪記載例③≫** ・20●年に「消費者サポート〇〇」に入会して以降、団体活動として消費者教育の推進に尽力するほか、〇〇や〇〇といった活動を通じ、会員への指導や助言を精力的に行うなど、団体内の後継者育成にも非常に熱心に取り組んでおり、県内の消費者団体活動の維持・発展に大きな役割を果たしている。また、20●年から現在まで、〇〇県消費者団体連絡会の副会長として、同連絡会の運営や消費者団体活動に主導的な役割を果たす一方、県の消費者啓発事業への参画を通じ、県民の安全・安心な消費生活の確保に貢献している。 ・20●年以降に県内の複数の地域で急増した高齢者の詐欺被害に対する自治体の取組の必要性について、県内の有志の弁護士等と話合い、「〇〇県消費者フォーラム（消費者団体）」の設立に尽力。事務局長として〇〇、〇〇といった活動など、多数の消費者の利益の擁護を図るための活動を主導し、同団体の運営に大きく貢献。その貢献も相まって、20●年には同団体が適格消費者団体の認定を受けるなど、その功績は大きい。
職　歴	・19●年4月～20●年3月　〇〇市役所 ・20●年4月～20●年9月　消費者サポート〇〇会長 ・20●年10月～現在　〇〇県消費者団体連絡会副会長 ・20●年4月～現在　〇〇県地域見守り隊 ・20●年4月～現在　〇〇県消費者フォーラム事務局長
主な表彰歴	特になし
ベスト消費者サポーター章受章歴の有無	(有)（2017年5月受章）・無
備　考	（ベスト消費者サポーター章青年部門に該当する場合はその旨記載）

担当者	所　属	〇〇県〇〇部〇〇課	氏　名	〇〇〇〇	電　話 FAX	○○○-○○○-○○○○ ○○○-○○○-○○○○

※「表彰等候補者調書」の他に可能な範囲で活動の様子が分かる資料、候補者に対する評価や地域への貢献が分かる資料（広報、新聞、雑誌記事など）及び顔写真（サイズ・様式自由）を添付してください。

※過去にベスト消費者サポーター章を受賞済の場合には、「活動内容及び成果」の欄において、**ベスト消費者サポーター章受章以降の取組に下線**を引いてください。

記載例⑤

表彰等候補者調書【様式1ー個人（企業）】

消費者支援功労者表彰等推薦要領別紙2-1

ふりがな 氏　名 生年月日	しょうひ　さぶろう 消　費　三　郎 1965年8月1日生まれ　年齢61歳　(男)・女
住　所	〒〇〇〇-〇〇〇〇　〇〇県〇〇市〇〇　〇-〇-〇
職　業	株式会社〇〇〇〇　〇〇部長 一般社団法人〇〇協会　事務局長
表彰の対象	消費者支援功労者表彰等推薦要領2の（2）（4）
活動の内容 及び成果 ※500字程度	≪記載例≫ ・一般社団法人〇〇協会では、事務局長に就任し、企業・消費者・行政をつなぐ活動を展開。団体活動を通じ、企業と消費者の相互理解の促進に尽力している。特に、SDGsの考え方の普及に尽力し、各種シンポジウムへの登壇、団体広報誌の編纂、企業人に対する研修・講座の実施など、幅広く活躍した。さらに、企業での消費者対応実務の経験を活かし、「消費者問題」や「企業と消費者」をテーマに大学で授業を行うなど、若者への教育活動を熱心に実施。〇〇県消費者協会が発行する機関誌や雑誌「〇〇」、地元の広報誌などへの寄稿も多数実施するなど、地域での消費者教育にも力を入れている。 ・長年にわたり自社組織における社会的責任推進活動に取り組んでおり、20●年には社内で初めてお客さま・消費者視点に沿った社員向け接客手本教材として「〇〇」とのリーフレットを作成した。その後は当該リーフレットを用いて社内勉強会を開催し、講師を務めるなど、消費者目線での企業活動に大きく貢献している。 ・国の消費者関連法の制定・改正に関する検討会に委員として議論に参画。事業者団体を代表する立場として、事業者の実行可能性の観点から法規制の在り方等について積極的に意見を述べ、議論の充実、ひいては制度整備等に大きく貢献した。

職　歴	・20●年4月～現在　株式会社〇〇〇〇　〇〇部長 ・20●年9月～現在　一般社団法人〇〇協会　事務局長 ・20●年4月～20●年3月　〇〇省「〇〇検討会」委員
主な表彰歴	特になし
ベスト消費者サポーター章受章歴の有無	有（　　）・(無)
備　考	（ベスト消費者サポーター章青年部門に該当する場合はその旨記載）

担当者	所　属	〇〇県〇〇部〇〇課	氏　名	〇〇〇〇	電　話 FAX	○○○-○○○-○○○○ ○○○-○○○-○○○○

※「表彰等候補者調書」の他に可能な範囲で活動の様子が分かる資料、候補者に対する評価や地域への貢献が分かる資料（広報、新聞、雑誌記事など）及び顔写真（サイズ・様式自由）を添付してください。

※過去にベスト消費者サポーター章を受賞済の場合には、「活動内容及び成果」の欄において、**ベスト消費者サポーター章受章以降の取組に下線**を引いてください。

記載例⑥

表彰等候補者調書【様式2ー団体・グループ（消費者団体）】

消費者支援功労者表彰等推薦要領別紙2-2

ふりがな 名　称 設立年月日	とくていひえいりかつどうほうじん〇〇〇〇 特定非営利活動法人〇〇〇〇 1999年4月1日		
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇県〇〇〇市〇〇　〇-〇-〇		
ふりがな 代表者氏名	しょうひ　たろう 消　費　太　郎	代表者 役　職	会長
表彰の対象	消費者支援功労者表彰等推薦要領2の（2）（3）（4）		
活動の内容 及び成果 ※500字程度	≪記載例①≫ ・当該団体は、県内任意団体が発展解消されたのち、より多くの消費者団体、法律の専門家、学識経験者等に広く参加を呼びかけ、新たなネットワークを組織するかたちで1999年4月に特定非営利法人として設立された。その後は認定に必要な実績を積み重ね、20●年4月に〇〇県唯一の適格消費者団体としての認定を受けている。適格消費者団体として認定されて以降、積極的に差止請求訴訟を提起するとともに、事業者に対する契約条項の改定等の申入れ活動を実施するなど、消費者被害の拡大防止に貢献している。 ・〇〇県とも連携して消費者問題に関する学習会・講演会を数多く実施するなど、消費者への教育・啓発活動も熱心に実施。また、〇〇県の委託事業として、「消費者被害防止に関する〇〇事業」や「消費者サポーター〇〇養成講座」を担うほか、高齢者の消費者被害防止に向けて「見守り〇〇事業」を実施し、各市町村の訪問・電話ヒアリングを〇〇県と連携しながら実施するなど、県内の消費者被害防止に寄与。 ・消費者契約法や特定商取引法といった法改正案に対して、意見書を提出するなど、消費者被害の実態を踏まえた制度見直しの実現に尽力している。 【当該団体が提起した主な差止請求訴訟】 ・〇〇〇〇の解約金条項に関する件（20●年●月） ・〇〇〇〇の不当契約条項に関する件（20●年●月） ・〇〇〇〇の優良誤認表示に関する件（20●年●月） ≪記載例②≫ ・本団体は、1999年の設立以来、長年にわたり、行政・事業者・教育機関・福祉団体等と幅広く連携しながら、地域に根ざした消費者支援活動を継続的に展開。消費者教育の分野では、小中学校・高校への出前講座を年間〇〇回以上実施し、契約の仕組みや悪質商法の手口について分かりやすく解説するとともに、若者向けの啓発リーフレットを独自に制作・配布している。また「〇〇」という市民参加型		

	のキャンペーンを立ち上げ、参加する市民は〇〇人を超えるなど、創造的な手法で活動を展開している。 ・県の委託事業「〇〇講座」を20●年から継続して実施するほか、例年、自治体と共催で消費者啓発の講演会を開催し、各回200名を超える市民が参加するなど、消費者意識の向上に大きく貢献している。さらに、団体代表者は〇〇市消費生活審議会の委員を務め、市の消費者施策の立案・推進にも積極的に関与している。また、地元保健所と連携した食品表示講座や食中毒予防講座を定期開催するほか、地元事業者・行政と協働してフードドライブや3R推進キャンペーンを展開し、持続可能な地域社会の実現にも寄与している。
団体の構成人数	団体正会員数〇団体、個人正会員数〇名
団体の活動範囲	〇〇県内外
団体事務局長氏名	消費　次郎
団体補助金	〇〇県補助金：〇〇千円
団体の主な業務	・消費者への教育・啓発活動の実施 ・適格消費者団体として消費者被害の救済・活動の実施　等
主な表彰歴	なし
ベスト消費者サポーター章受章歴の有無	有（　年　月受章）・(無)
備　考	（ベスト消費者サポーター章青年部門に該当する場合はその旨記載）

担当者	所　属	〇〇県〇〇部〇〇課	氏　名	〇〇〇〇	電　話 FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

※「表彰等候補者調書」の他に可能な範囲で活動の様子が分かる資料、候補者に対する評価や地域への貢献が分かる資料（広報、新聞、雑誌記事など）及び顔写真（サイズ・様式自由）を添付してください。

※過去にベスト消費者サポーター章を受賞済の場合には、「活動内容及び成果」の欄において、**ベスト消費者サポーター章受章以降の取組に下線**を引いてください。

記載例⑦

表彰等候補者調書【様式2ー団体・グループ（学校）】

消費者支援功労者表彰等推薦要領別紙2-2

ふりがな 名　　称 設立年月日	○○けんりつ○○こうとうがっこう ○○県立○○高等学校 1960年4月1日		
所在地	〒○○○-○○○○ ○○○県○○○市○○　○-○-○		
ふりがな 代表者氏名	しょうひ　　はなこ 消　費　　花　子	代表者 役　職	校長
表彰の対象	消費者支援功労者表彰等推薦要領2の（2）		
活動の内容 及び成果 ※500字程度	≪記載例≫ ・当校では、20●年度より、全校生徒を対象とした「総合的な探求の時間」において、SDGsをテーマに17のグループに分かれて3年間を通じて探求活動を行っており、主体的・対話的な学びにつなげている。 　今年度（20●年度）からは、2年生がSDGs12「つくる責任つかう責任」に関わりのある取組として、○○県の重点事業に位置づけられている「地球にやさしい消費推進事業（エシカル消費）」の協働プロジェクトに参画し、各種活動に取り組んでいる。 　特に、消費と環境・社会のつながりを「自分ごと」として考え、次世代を担う若者をはじめ幅広い世代に対して行動変容を促すため、ロゴマークやキャラクターに加え、それらを活用した啓発資材（ポスターとリーフレット）を作成した。作成した啓発資材は、県内のスーパーマーケットと連携し、一部の店舗における実証事業として、生徒自らが展示・配布等を実施したところ、当該活動は県内メディアにも大きく取り上げられた。関係各所で反響が大きく、県民や事業者の行動変容の気運醸成に大きく寄与していると評価できる。 【主な制作物】 ・ロゴマークとして、消費者向けと事業者向けの2種類を考案 ・○○から着想を得たキャラクターを考案 ・上記ロゴマーク・キャラクターを活用したポスター・リーフレットを作成		

団体の構成人数	600名					
団体の活動範囲	○○県内					
団体事務局長氏名	消費　花子					
団体補助金	なし					
団体の主な業務	学校教育					
主な表彰歴	なし					
ベストー消費者サポーター章受章歴の有無	有（　年　月受章）・(無)					
備　考	（ベスト消費者サポーター章青年部門に該当する場合はその旨記載）					
担当者	所　属	○○県○○部○○課	氏　名	○○○○	電　話 FAX	○○○-○○○-○○○○ ○○○-○○○-○○○○

※「表彰等候補者調書」の他に可能な範囲で活動の様子が分かる資料、候補者に対する評価や地域への貢献が分かる資料（広報、新聞、雑誌記事など）及び顔写真（サイズ・様式自由）を添付してください。

※過去にベスト消費者サポーター章を受賞済の場合には、「活動内容及び成果」の欄において、**ベスト消費者サポーター章受章以降の取組に下線**を引いてください。